

琴オリンピック実行委員会



Profile

大正琴を全世界に広めるべく全国から集まった不用となった大正琴をボランティアで再生し、世界の子供達にプレゼントする「大正琴を世界に拡げよう運動」のシンボルとして「世界大正琴交流大会琴オリンピックイン新潟」を2年ごとに開催しています。

大正琴は日本人が日本人のために作った唯一の楽器であり、高齢化している大正琴の担い手を若い人達や海外の子供達に広めたいという考えを形にしたのがこのイベントです。

2016年と2018年の2回開催しましたが、両方とも海外小中高生は100名ほど。新潟市のコンサートホールで一堂に会して演奏をするということは、すごい感動を覚えることです。また、日本国内の大正琴愛好者たちとの交流も盛んにおこなわれ、今年、3回目を予定していました。

2回とも全員が大正琴を自国に持って帰っています。その大正琴は、5月現在729台あつまり、336台が海外へお嫁に行っています。機会があれば海外に出向きワークショップをして、インターネットで指導。現地から演奏の動画が届きます。彼らは琴オリンピック参加のために日夜練習しています。

また彼らの新潟滞在費の一部に充てるため「琴オリンピック募金」をやっています。